重点施策	健やかな体の育成	
評価実施者	所 属	学校運営課
	職・氏名	課長 橋本啓二

重点施策の概要	目的	規則正しい、望ましい生活習慣の定着や豊かで健全な食生活の実現、運動や遊びを通じた体力の向上、歯の健康を守るための予防活動など、健康で安全な生活を営むための自己管理能力のある子どもの育成を推進します。
	今年度の主要事業	①食育の推進(バランスの良い栄養摂取と食事マナーを身につけさせるとともに、生産者等を通じて地場産品の学習、交流給食の実施等) ②歯科など保健指導の推進(むし歯の予防、小学校におけるフッ化物洗口の全校実施) ③体力向上の推進

事業の目標と実績	区 分		単位	H25	H26	H27	特記事項
	1	小学6年生で毎日朝食を食べている割合	目標 実績	%	100.0 92.6	100.0 95.5	
2	中学3年生で毎日朝食を食べている割合	目標 実績	%	100.0 92.0	100.0 90.4	100.0 94.0	全国学力学習状況調査による H27全国平均 93.5%、全道平均 92.5%
3	小学6年生で毎日同じ時間に寝ている割合	目標 実績	%	79.0 73.6	79.0 77.2	79.0 69.9	全国学力学習状況調査による H27全国平均 79.5%、全道平均 78.5%
4	中学3年生で毎日同じ時間に寝ている割合	目標 実績	%	73.5 74.8	73.5 72.1	73.5 70.7	全国学力学習状況調査による H27全国平均 75.2%、全道平均 73.6%
5	滝川産の特産品を知っている(5年生を対象)	目標 実績	%	100.0 71.7	100.0 72.0	100.0 68.0	滝川市教育振興会栄養士部会食生活アンケート
6	フッ化物洗口実施率	目標 実績	%	80.0 76.5	80.0 77.4	80.0 77.1	H27 対象児童数 1,881名 実施人数1,450名

事業の分析効果の検証	①食育の推進・・・各小学校において農業体験活動や生産者を招いた交流給食を実施したり、たまねぎやアスパラ、完熟トマト、リンゴ等地場産食材を積極的に活用した献立内容の充実を図るなど、食育の推進に努めた。朝食の摂取率は、中学3年生が全国全道平均を上回り上昇したが、小学6年生は全国全道平均を下回り、朝食を摂らずに登校している児童がいることから、引き続き食育指導及び生活習慣の改善に向けた取り組みが必要である。 ②歯科など保健指導の推進・・・24年度より市内全小学校においてフッ化物洗口事業が開始となり、27年度においては、目標率の達成はできなかったものの実施率はほぼ横ばいで、事業の効果が期待できる。 ③体力向上の推進・・・教育振興会による体力向上事業や各小学校が1年生から新体力テストの一部実施、授業以外での体力向上に関する取組等を行い、課題であった走力について、伸びが見られたものの、全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果では依然走力に関わって全国平均を下回った。

課題	①食育の推進・・・食育の推進については、給食の時間や学級活動等における取り組みを促進するとともに、子どもに規則正しい生活環境を定着させるため、就学前からの取り組みを関係機関と連携し充実させることが大切である。 ②歯科など保健指導の推進・・・フッ化物洗口事業については、24年度中途からの全小学校での実施のため、効果の検証は現時点では難しいが、毎年度の歯科検診結果等により、事業効果の検証を進めていく必要がある。 ③体力向上の推進・・・調査結果等の分析をした上で、学校ごとに目標を設定したり、校内研修の実施や一校一実践の見直しをするなど体力向上を図る取組を進めていく必要がある。

評価	B	評価の視点1 期待どおりの効果があったか フッ化物洗口事業は全小学校での実施を継続し、実施率(77.1%)はほぼ横ばい。食育の推進については、滝川の特産品をしっている児童が約4%減少したものの、少数ではあるが知っている特産品の種類は増加している。児童が体力向上については、全国調査の結果からは十分な成果は得られなかった。 評価の視点2 施策の目的を達成するため、事業見直し等の必要があるか 食育の推進については11年目になる地産地消給食等を通じ滝川市特産品の情報発信や生産者等への感謝する心を抱かせる効果へつなげていきたい。体力の向上については、各校の状況に応じた体力向上に向けての取り組みを進めていくことが必要である。

【評価の区分】

- A: 期待どおりの成果が得られ、今後も事業を継続する
- B: ほぼ期待どおりの成果が得られたが、さらなる発展のため事業を見直す余地がある
- C: 概ね期待した成果は得られたが、事業の見直しが必要である。
- D: 期待する成果が得られず、廃止も含めた見直しが必要

事業の今後の方向性	来年度以降も食育の推進及びフッ化物洗口実施率の向上に向けて引き続き取り組んでいく。また、小中学生の体力・運動能力の向上を図るため、各校が調査結果の状況を踏まえて体育指導に活かす取り組みや校外活動において体力向上に向けた取り組みを推進するよう働きかけるとともに、教育振興会による体力向上事業を推進していく。 ☐ 拡充 ☐ 縮小・統廃合 ☐ 質的向上 ☐ スピートアップ ☐ 検証 ☒ 継続

◎外部評価委員の評価・意見等

点検・評価に関するコメント	箸や鉛筆の持ち方が正しくない児童生徒が多く見られるので、そのような部分も指導してほしい。フッ化物洗口については、実施の効果を示していくことが必要になると思うので検討いただきたい。